

# おいしい！中之町 学校林の魅力地域に伝えよう！

日時：9月7日（火）第6校時

学年・学級：3年1組（21名）

育成をめざす資質・能力：主体性 協働性 課題解決力 コミュニケーション力

指導者：田岡 孝文

## 1 単元について

### 地域や学校の特色と教師の願い

中之町には三原市学校林（詳細は別紙参照）がある。この三原市学校林には昭和56年に植林されたヒノキの造林地が0.4haほど広がっているが、その後約20年間放置され荒れた土地となってしまった。平成15年にNPO法人「フォレストサポートクラブ」が中心となり整備された。さらに、その周囲には野鳥の森、樹木の見本園、自然観察道も整備され、現在ではピザ作りやしいたけ狩り、クラフト作り等も体験できる。また、今年には整備から20周年であり、それを記念して新たな子供広場も制作したり、蛍を呼ぶ取組をしたりしている。

しかし、このような学校林を通した学習は1年生と2年生がそれぞれ秋に一度生活科「秋見つけ」で訪問するにとどまっておき、魅力的な地域資源を活用しきれていないのが現状である。また、地域住民も学校林の存在を知らない人がほとんどである。

そのため、全学年が学校林と関わり（詳細は別紙参照）、そのよさを地域に発信する活動を通して、地域住民を巻き込んで学校林を発展させていきたいと思えるようにしたい。そして、地域を愛し、地域の未来を創る児童を育成していきたい。

### 児童の実態

本学級の児童は第1学年、第2学年の生活科において学校林を訪問し、秋の自然を見つけたり、持ち帰った枯葉や木の実で作品を作ったりしている。しかし、第3学年社会科において「地域にあるもの」を学習した際には、児童から学校林は出てこなかった。

7月に実施した資質・能力アンケートで肯定的な評価をした児童の割合は、協働性81%、課題解決力95%、コミュニケーション力81%だった。この結果から、本学級の児童は自己肯定感が比較的高く、前向きに学習に取り組む児童が多いと考えられる。しかし意欲が高いゆえに、授業において「自分の考えを伝えたい」気持ちが先行し、仲間の話に本気で耳を傾けて聴くことに課題がある。このことから、本単元では、仲間の意見に耳を傾け、内容を理解したうえで自分の意見を伝えられる「協働性」を育めるような話し合いの場を設定していく。

### 学習の題材

本題材の本質的な問いは『中之町のために、自分たちができることは何だろう』である。まず、単元導入において、三原市の観光パンフレットに中之町が掲載されていない事実を見つけ、『中之町の自慢を見つけよう』という仮の探究課題を設定する。自分たちが感じている中之町の自慢を話し合う中で、秋見つけで行った学校林は三原市で一つしか無い貴重な存在であることに気付いていく。そして、私たちの自慢である『学校林の魅力を見つけよう』という仮の探究課題②を設定し、学校林での体験を通して学校林を存分に堪能することで、その魅力を味わっていく。しかし、みんなが楽しめるはずの学校林に、地域の人々が全く来ないという事実を聞き、『学校林の魅力地域の人に伝えるために私たちにできることを考えよう』と真の探究課題へ変化する。そして、他の観光地が行っているPRの方法を調べ、見つけた方法を用いて実際に地域の方にPRしていく。

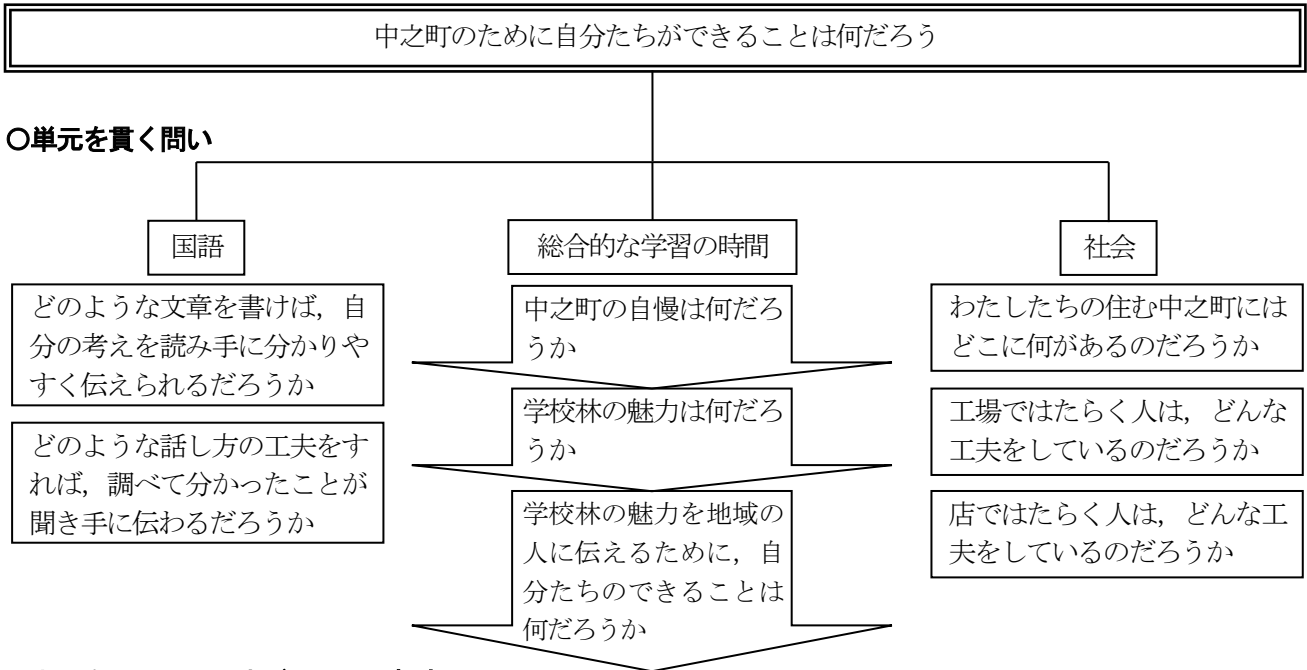
これらの活動を通して、自分の住む中之町の魅力を発見し、味わうだけでなく、PRを通して学校林に魅了される地域の仲間が増える喜びも実感することができる。そして、中之町に対する郷土愛が深まり、今後も積極的に中之町に参画しようとする気持ちをもてるのが期待できる。また、このような一連の探究的なプロセスを経て課題が変化していく中で、課題解決に向けたクラスや班での話し合いが多く行われる。仲間の意見を本気で聴き、課題解決の糸口をつかむ経験を積み重ねることで、本単元で育成をめざす資質・能力「協働性」も育める題材である。

### 単元の目標

学校林の魅力を知り、その魅力を地域に発信する活動を通して、自分の住む、愛する郷土中之町の魅力に気づき、今後も地域の一員として自ら進んで地域と関わり続けたいという気持ちを抱く。

## 2 「問い」とカリキュラム・マネジメント

### ○本質的な問い



### ○カリキュラム・マネジメントの視点

本単元の総合的な学習の時間は、国語科と社会科と関連付けながら学習を進めていく。まず、1学期の社会科において「わたしたちの住む中之町にはどこに何があるのだろうか」という単元を貫く問いのもと、中之町の東西南北を町探検し、白地図にまとめる活動を行った。そして、2学期の総合的な学習の時間において、中之町が三原市のガイドブックに全く掲載されていない事実を伝え、仮の探究課題である「中之町の自慢は何だろうか」という問いをもてるようにする。

この問いを軸に単元を進めていながら、社会科で「工場ではたらく人は、どんな工夫をしているのだろうか」「店ではたらく人は、どんな工夫をしているのだろうか」という問いのもと、工場や店ではたらく人々の工夫や思いを調べていく。調べる中で、「工場できたお菓子が市内のお店でたくさん売られているのは、市のお土産として買ってほしい、市の魅力を発信したいから」「スーパーでは、地域の人が買い物をしやすいように様々な取組が行われている」という「地域貢献」について学ぶ。そして、中之町にも地域に貢献しようとするお店や工場があるのか、についてインタビューを通して学習し、地域貢献の視点からも中之町の魅力に気付けるようにしていく。

また、探究の過程「まとめ・表現」においては、国語科と関連付けて学習していく。学校林について調べ、分かったことをまとめる際には、「自分の考えをつたえよう」の単元で学習したことを活用してまとめていく。さらに、調べたことをプレゼンする学習の際には、「外国のことをしょうかいしよう」の単元で学習したことを活用して、聞き手に伝わりやすい工夫をし、プレゼンしていけるようにする。

## 3 学習ツールの活用

### ○ICT 機器

#### 【インターネットの活用について】

- ・インターネットでの調べ活動は手軽にできるが、目的のない調べ活動は、拡散しすぎて時間を無駄にしたり、児童の意欲が低下してしまったりする可能性がある。そのため、「魅力がより伝わるレイアウトを学習するために、様々なガイドブックを調べる」のように、「何のために何を調べるのか」という調べ活動の目的を明確にすることで、知りたい情報を的確に調べられるようにする。
- ・中之町の魅力や学校林の魅力を調べる際には、インターネットを使うのではなく、インタビューや見学による調べ活動に限定することで、具体的な様子を発見できるようにする。
- ・一方、他市町が持っている魅力やガイドブックにおけるまとめ方の工夫を調べる際には、インターネットを用いることで、幅広い情報を的確に収集できるようにする。
- ・インターネットで調べ活動をする際には、Chromebook のユーザー補助機能である「読み上げ機能」を用いることで、読めない漢字があっても正しく記録できるようにする。

- ・インターネットで気になる記事を見つけた際には、スクリーンショットを撮ることで、時間を節約しながら正確に記録できるようにする。

**【ジャムボードの活用について】**

- ・ノートやプリントとジャムボードを、次のように使い分けることで、それぞれのよさを最大限生かせるようにする。
- ・「思ったことを直感で素直に書くことができる」というよさを生かして、個人でアイデアを書き出す際や振り返りを書く際にノート・プリントを用いる。
- ・「写真を貼り付けることができる」「何度もやり直しができる」「コピーして複製することが簡単にできる」というよさを生かして、調べて分かったことをまとめる際にジャムボードを用いる。
- ・「集団で話し合いながら意見を収束・拡散することができる」「全体への共有を瞬時に行える」というよさを生かして、KJ法やピラミッドチャートを用いたグループ単位での話し合いの際にジャムボードを用いる。ただし、クラス全体でまとめる際には、はっきりと文字を書ける黒板を用いる。
- ・「たくさん色を使うことができる」「細部まで思う通りに描ける」「自由なレイアウトで描ける」というよさを生かして、調べたことをプレゼンする際の資料や、魅力を掲載したパンフレットを作成する際には、模造紙やワークシートを用いる。

**【カメラ機能の活用について】**

- ・校外学習で見つけたものを写真撮影したり、(事前に許可を得て)インタビューを動画で撮影したりすることで、調べたことを正確に記録し、まとめる際に何度も見直すことができるようにする。

**○思考ツール**

- ・ICTの活用と同様に、思考ツールを使うことが目的とならないように留意する。
- ・発達段階を考慮し、用いる思考ツールをウェビング、ピラミッドチャート、PMIシートに絞る。
- ・ウェビングを用いることで、1つの事柄を多面的・多角的に捉えたり、異なる要素を関連付けて考えたりすることができるようにする。
- ・ピラミッドチャートを用いることで、事柄の優先順位を理由と共に話し合い、アイデアを統合できるようにする。
- ・PMIシートを用いることで、「良かった点」「改善点」「改善策」の視点に絞って自分自身を振り返ったり、他者を評価したりできるようにする。

**4 単元の評価規準（ルーブリック）**

資質・能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
主体的に 学習に 取り組む 態度	<b>【主体性】 問いをもつ力</b>	中之町の魅力が十分に伝わっていないことを見つけ、伝えるための方法を考えようとしている。	中之町の魅力が十分に伝わっていないことを見つけ、伝えるための方法を複数考えようとしている。
	<b>【協働性】 仲間と共に学び合う力</b>	中之町の魅力を伝える方法を、話し合い等のグループ活動の中でまとめていくことができる。	中之町の魅力を伝える方法をグループやクラスで話し合うことで、自分の考えを整理したり、友達から新しいアイデアを得たりするなど、そのよさを実感できる。
思考・ 判断・ 表現	<b>【課題解決力】 問いを解決する力</b>	国語科で学習した文章の書き方や、社会科で学習した地域の工夫などの既習を生かしながら、PRのための発表やリーフレット作りに取り組むことができる。	国語科で学習した文章の書き方や、社会科で学習した地域の工夫などの既習を生かしながら、PRのための発表やリーフレット作りに取り組み、地域に発信することができる。
知識・ 技能	<b>【コミュニケーション力】 相手の話を聞き、自分の考えを伝える力</b>	グループやクラスでの話し合い活動の中で、友達の意見に対して共感や付け加え等の自分の意見を持ち、つなぎ言葉を使いながら分かりやすく伝えることができる。	グループやクラスでの話し合い活動の中で、友達の意見に対して共感や付け加え等の自分の意見を持ち、つなぎ言葉を使いながら分かりやすく伝えることができる。

4 指導計画 (全 35 時間 本時 2 / 35) ☆ : 「三原ダルマプラン」 ショック

	探究の過程 資質・能力	学習活動
テーマ決定・仮の探究課題の設定・探究	課題の設定 協 主  情報の収集 整理・分析 協 主 課	<p>○夏休みの思い出・行った場所を話し合い、その地域の観光パンフレットを見つける。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇に行ったよ。</li> <li>・今年は行けなかったけど、前△△に行ったよ。</li> <li>・そこ、どんなところ？調べたい！</li> <li>・パンフレットを見たら行ってみたいくなった！</li> <li>・パンフレットはその町の自慢の場所。つまりみんなが行ってみたいところなんだね。</li> </ul> <p>○三原市のパンフレットを見て行ったことがある場所・行ってみたい場所を出し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みに須波の海に行ったよ。</li> <li>・大和の桃狩りに行ったよ。</li> <li>・久井というところも三原なんだね。</li> <li>・本郷の古民家に行ってみよう！</li> </ul> <p>(授業後、出た場所を町ごとに整理しておき、次時に提示する)</p> <p>☆三原市のパンフレットを見て中之町の記載がないことに気付き、仮の探究課題を設定する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あれ、観光地を整理した表を見ると…中之町が0個だ…</li> <li>・中之町にも魅力はあるのに。</li> <li>・ニチエー、賀羅加波神社、滝宮神社、八兵衛、学校林、ファミマ…</li> <li>・この中で他の人に来てもらいたい“自慢の場所”はどれだろう？</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     仮の探究課題：中之町の自慢を見つけよう                 </div> <p>○中之町の自慢を話し合う。(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニチエーや八兵衛は確かによく行くから好きな場所だけど、自慢ではないかな。</li> <li>・和久原川は、水がきれいでおいしいんだって。</li> <li>・賀羅加波神社の木は800歳らしい。</li> <li>・学校林は三原に1つしかないらしい。</li> <li>・1つだけなんてすごい！中之町の自慢だね。</li> <li>・学校林についてもっと調べてみたいな。</li> <li>・また行きたくなってきた！</li> </ul>
真の探究課題の設定・探究・活動のまとめ	課題の設定 協 主  情報の収集 整理・分析 協 主 課	<p>○仮の探究課題②を設定する。(1)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     仮の探究課題：学校林の魅力を見つけよう                 </div> <p>○学校林探検の計画を立て、体験する内容を調べる。(5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校林ではどんな遊びができるのかな。</li> <li>・去年は木の実がもう無くなってしまったから今年は見つけたい！</li> <li>・学校林では他にどんな遊びができるのかフォレストサポートの方に聞いてみよう！</li> <li>・秘密基地を作りたい！</li> <li>・かくれんぼをしたら楽しそう。</li> <li>・行き帰りの交通安全についてもしっかり考えよう。</li> <li>・どんな服装がいいのか？</li> </ul> <p>○学校林を探検する。(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校林でしかできない遊びがたくさんあって楽しいな。</li> <li>・これは何だろう？フォレストサポートさんに聞いてみよう。</li> </ul> <p>○学校林探検を振り返る。(2)</p>

真の探究課題の設定・探究・活動のまとめ	まとめ・表現 協 主	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校林ではおもしろい遊びがたくさんできた。</li> <li>・自然の中でかくれんぼをしたら、なかなか見つけられなくて楽しかった。</li> <li>・秘密基地に入ると冒険しているみたいだった。</li> <li>・今まではこんなに楽しいなんて知らなかった。</li> </ul>
	課題の設定 協 主  情報の収集 整理・分析 協 主 課  まとめ・表現 協 主	☆フォレストサポートの方から学校林には地域の人あまり来ないことを聞き、探究課題が変化する。(1)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">           真の探究課題：学校林の魅力を地域の人に伝えるために、自分たちにできることを考えよう。         </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○どうしたら地域の人がたくさん来てくれるのかを話し合う。(3)</li> <li>・家族や近所の人に伝える。</li> <li>・ポストに入れて周る。</li> <li>・ニチエーにリーフレットを置く。</li> <li>・人が集まっているところで魅力を伝える。</li> <li>・動画で撮影してホームページで紹介する。</li> <li>○観光地のPRの方法を調べる。(2)</li> <li>○PRの方法を決める。(2)</li> <li>・地域の人がよく集まるところで配るのがよさそう。</li> <li>・○○の町ではYouTubeに動画をあげていたよ。</li> <li>・より伝わりやすいのは…</li> <li>○リーフレット(動画)作りをする。(5)</li> <li>・国語で学習したことが使えそう。</li> <li>・もっと～してみよう。</li> <li>○発表練習をする。(3)</li> <li>・発表も国語での学習を使って分かりやすく伝えよう。</li> <li>○コミュニティセンターで発表する。</li> <li>○活動をまとめる。(2)</li> <li>・中之町には学校林という素敵な魅力があった。</li> <li>・地域の人にPRできた。</li> <li>・たくさんの方が来てくれるといいな</li> <li>○活動を振り返る。(1)</li> <li>・フォレストサポートさんが、お客さんが増えたと言ってくれた！</li> <li>・フォレストサポートさんの力になれて嬉しい。</li> <li>・地域の人に学校林の魅力が伝わって嬉しい。</li> <li>・仲間と本気で話し合うことで、難しい課題も解決することができた。</li> <li>・話をよく聴くと、いろんなアイデアが浮かんできた。</li> </ul>

## 5 本時の学習

### (1) 本時の目標

三原市のあらゆるパンフレットに中之町の記載が無いことに気づき、中之町の魅力を出し合う活動を通して、中之町の自慢を見つけていこうという課題意識をもてるようにする。

### (2) 本時の展開

	学習活動(○発問、子供の反応)	○指導上の留意点・手立て ☆評価
	1 仮の探究課題を設定する。 ○前回、三原市の色々なパンフレットを見ましたね。 みんなが出た場所を町ごとに整理しました。 ・あれ？中之町が0個だ…	○前時に見つけた三原の様々な観光地・名所を町ごとにまとめた表を提示することで、中之町の記載が無いことに気付けるようにする。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">課題の設定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さみしい。素敵な場所はたくさんあるのに…</li> <li>・中之町にも楽しい場所があります！</li> </ul> <p>○どんなところが魅力か、ノートに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニチエー</li> <li>・賀羅加波神社</li> <li>・滝宮神社</li> <li>・八兵衛</li> <li>・学校林</li> <li>・中之町幼稚園</li> </ul> <p>○発表しましょう。</p> <p>○この中で、みんなに紹介したいとおきの自慢の場所はどこですか。</p>	<p>○事前にこれまで町探検等で行って楽しかった場所を写真で振り返っておくことで、「中之町にも魅力がある！」という言葉を引き出せるようにする。</p> <p>○まずは自分が好きな場所、身近でよく行く場所、魅力だと思う場所をたくさん列挙する。</p> <p>○「みんなに紹介したいとおきの自慢」と強調することで、上位の価値に注目して仲間分けができるようにする。</p>
<p>仮の探究課題：中之町の自慢を見つけよう。</p>		
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">整理・分析</p>	<p>2 本時で意識する資質・能力を選択する。</p> <p>○今日の授業で意識するめざす姿を決めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問い・ストーリー</li> <li>・ワンチーム</li> <li>・コンボ！</li> <li>・Iあい5</li> </ul> <p>3 中之町の“自慢”を話し合う。</p> <p>○自慢の場所とその理由をジャムボードに書きましょう。</p> <p>○どのように分けましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賀羅加波神社が自慢の場所です。理由は2月のお祭りで餅まきがあって、たくさんの人が集まるからです。</li> <li>・八兵衛も自慢の場所です。三原のどのラーメン屋さんよりもおいしいからです。</li> <li>・学校林も自慢の場所です。2年生の時に行って、紅葉がすごくきれいだったからです。</li> </ul>	<p>○課題をノートに書いた後に、自分が選択した資質・能力をノートに書いておくことで、本時の課題を踏まえたうえで選択できるようにするとともに、思考の流れを途切れさせる事無く展開できるようにする。</p> <p>○本時で意識する資質・能力を個人で選択することで、めざす資質・能力を自分事としてとらえられるようにする。</p> <p>○4つの資質・能力をキャッチフレーズ化して児童に伝えることで、それぞれの資質・能力をイメージしやすくする。</p> <p>○ジャムボードで思考することで次のメリットがある。</p> <p>①ピラミッドチャートを用いることで、理由を考えながら出た意見を整理して、何が自慢なのかを明確にできるようにする。</p> <p>②何度も動かしながら思考することができる。</p> <p><b>【ICTのメリット：自由に動かせる】</b></p> <p>③集団で練り合う際、ウィンバードを用いて全員の画面を大型テレビに掲示しておくことで、誰がどの立場なのか、だれがいつ変更したか、を教師も子供も常に把握することができる。</p> <p><b>【ICTのメリット：瞬時に共有できる】</b></p> <p>④1番始めの考えは残しておき、2ページ目にコピーをして、コピー先を変更することで、最初の考えと話し合い後の考えを比較することができる。</p> <p><b>【ICTのメリット：コピーして複製することが簡単にできる】</b></p>

		<p>○友達の見解を聞いていつでも変更してもよいと伝えておくことで、友達の見解を自分事として聴くことができるようにする。</p> <p><b>【資質・能力「協働性」の育成】</b></p>
まとめ・表現	<p>○クラスとして、一番みんなが自信をもって自慢できる場所はどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくは～が一番です。</li> <li>・ぼくは～だと…。</li> <li>・決まらん！</li> <li>・みんなが納得できるようにもっと調べたい！</li> </ul> <p>○学習の振り返りをしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日ぼくが頑張りがなかっためざす姿は「ワンチーム」でした。そのために、友達の見解は目・耳・心で聴きました。すると、自分が最初に思っていたこととは違う考えが出てきて、ぼくの見解が変わりました。仲間を見解を本気で聴くと、新しい考えに気付けることが分かりました。これからは仲間を見解を本気で聴くし、ぼく自身も仲間に「伝える」という意識で見解を伝えたいと思いました。</li> <li>・今日私が頑張りがなかっためざす姿は「問い・ストーリー」です。理由は、私の住む中之町がパンフレットに載っていないのが悔しくて、何とか中之町の魅力を見つけ出したかったからです。めざす姿を意識しながら常に考え続けると、たくさんの自慢を見つけました。課題を解決するためには、「なんでだろう？」という問いをもち、考え続けることが大切なんだと気付きました。次はクラスとしての一番を決めるために、それぞれを詳しく調べていきます。次もしっかり考え続けて、みんなが納得できる説明をしたいです。</li> </ul>	<p>○このように発問することで、「みんなを納得させるためにもっと調べたい」という思いを抱けるようにする。</p> <p>○次の学習の見通しをもって終わることで、授業のつながりを意識して学習を進めていけるようにする。</p> <p>○OPPA（別紙参照）に自らが設定した資質・能力の視点で振り返ることで、今日の自分の姿を見つめ直し、成長したことや惜しかったことに気付けるようにする。</p> <p>○OPPA を活用することで、単元を通して自らの成長を俯瞰的にみることができ、メタ認知能力の向上を図る。</p> <p>☆仲間と話し合うことで、自分の見解を整理したり、友達から新しいアイデアを得たりするなど、そのよさを実感できている。</p>

(4) 板書計画

9/7 No.3

㊦ 中之町のじまんを見よう！

	パンフレット
大和	ももがし
久井	天文台
本郷	八天堂
中之町	
可児	海浜公園

## 【別紙】

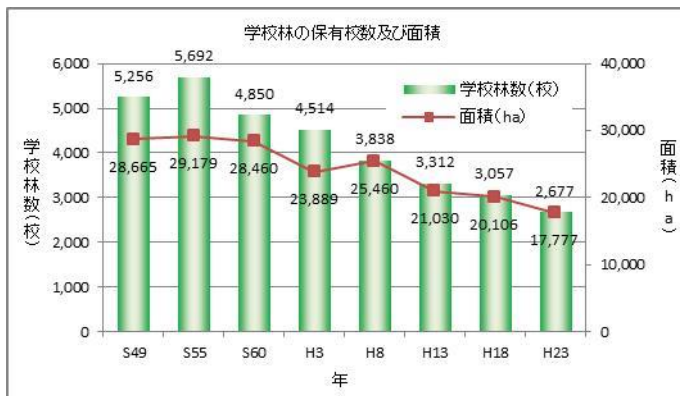
### ○学校林とは

学校林とは、小学校、中学校、高等学校等において、学校の基本財産形成や児童・生徒への環境に関する教育、体験活動を目的に、学校が保有している森林をいいます。学校林の造成は、戦後の国土復興運動の一環として、林政・教育上において重要なものとして推進されてきました。

学校林の所有形態は、学校所有のほか、国有林や公有林など分収林によるものもあります。

学校林活動は、心身ともに発育中の小中学校の生徒や高校生による、植樹や保育作業を通じた自然に関する科学知識の学習、社会に貢献する情操豊かな人間性の修得、森林造成による地域社会への寄与などの側面を持った活動として実施されています。

また、この活動を広げていくことを目的として、平成19年度から毎年「学校林・遊々の森」全国子どもサミットを開催してきましたが、平成26年度からは「学校の森・子どもサミット」へと発展させ、全国から集まった子ども達の学校林での活動発表や交流を行っています。



(林野庁HPより [https://www.rinya.maff.go.jp/j/ryokka/school\\_forest/](https://www.rinya.maff.go.jp/j/ryokka/school_forest/))



### ○NPO法人フォレストサポートクラブについて

県森林インストラクター、日本自然保護協会員、森林ボランティアが中心となり里山の保全並びに自然と親しむ活動の場を提供する事業を行い環境の保全に寄与することを目的に活動している団体です。主な活動としては、

1. 炭の活用に関する事業
2. 学校林の活用に関する事業
3. エヒメアヤメの保全に関する事業
4. 里山整備事業
5. 自然と親しむ活動の提供事業
6. 自然保護のための調査に関する事業
7. 他の環境保護団体との交流事業

を行っています。特に「自然と親しむ活動の提供」については、さつき祭りや浮城祭りにクラフト製品やカブトムシの幼虫、自作のシイタケ等を出店したり、幅広い小学校のPTC活動へ出前講座を行ったりと、様々な活動をしています。

(フォレストサポートクラブHPより <https://genki365.net/gnkn05/mypage/index.php?gid=G0000010>)



### ○各学年の取組

- 1年生：「たのしいあきいっぱい」で学校林を訪問し秋の自然を楽しむ。
- 2年生：「うごくうごくわたしのおもちや」や「もっと行きたいな町たんけん」で訪問し自然の遊びを体験する。
- 3年生：学校林の魅力を経験し、その魅力を地域に発信する。
- 4年生：森が担う防災の役割を調べる。
- 5年生：環境保全に向けた取組を考える。
- 6年生：学校林の施設を多くの人々がもっと気持ちよく利用できるように改善策を考え提案する。



## ○取り組むにあたって予想される課題

- ・中之町小学校から学校林まで約 1.8 kmあり，片道 30 程度時間がかかる。そのため，頻繁に行くことが難しい。
- ・自然の中で学習するので，怪我・気温・蜂・マムシ等に十分気を付けなければならない。
- ・コロナ対策を十分に行わなければならない。

## ○OPPA (One Page Portfolio assessment) について

OPPA は堀哲夫（山梨大学名誉教授）が 2002 年に開発した一枚ポートフォリオ評価のことです。OPPA は構成主義の考えに基づき，教師のねらいとする授業の成果を，学習者が一枚の用紙の中に学習前・中・後の履歴として記録し，その全体を学習者自身が自己評価する方法のことを言います。OPPA を活用することで，

- ・子供の認知構造が明らかになる
- ・子供の変容を適切に見取ることができる
- ・子供の資質・能力を育成できる
- ・子供のメタ認知能力を育成できる
- ・子供の学ぶ意欲が高まる
- ・教師の授業改善につながる

といった効果が期待できます。

本校では，この堀が開発した OPPO を総合的な学習の時間に導入している。OPPA には，「めざす資質・能力」に対して今の自分はどうかを学習前に記録し，日々の授業で資質・能力に関する振り返りを行い，単元終了後に自己の変容を記録する，という流れで記入していきます。

総合的な学習の時間 OPPO 名前 ( )

「 単元名 」	日付	課題
総合的な学習の時間で付けたいカ	日付	課題
	今日の時間で付けたいカ	
めざす姿（ルーブリック A の姿）	日付	課題
<b>主体性</b> 自ら問いをもち，よりよい解決方法を考え，課題を解決しようとしている。	今日の時間で付けたいカ	
<b>協働性</b> 自分の意見と仲間の意見を比べながら考え，仲間と共に学ぶよさを実感し，友達のを大切にしながら，課題解決に向けて取り組むことができる。	日付	課題
<b>課題解決力</b> 既習を活用しながら見通しをもち，筋道立てて課題を解決することができる。	今日の時間で付けたいカ	
<b>コミュニケーション</b> 相手の意見を大事にしなが，つなぎ言葉を使い，考えを伝え合うことができる。	日付	課題
	今日の時間で付けたいカ	
↓	日付	課題
今の自分の姿（できていること，惜しいところ）	今日の時間で付けたいカ	
<b>主体性</b>	日付	課題
<b>協働性</b>	今日の時間で付けたいカ	
<b>課題解決力</b>	日付	課題
<b>コミュニケーション</b>	今日の時間で付けたいカ	
<small>授業の振り返りには、「今日の時間で付けたいカ」がどうだったか，今日の学習で学んだことについて書きましよう。</small>		
	学びの振り返り ～単元を学習する前の自分と比べよう！～	
	成長したこと・まだ惜しいところ	
<b>主体性</b>		
<b>協働性</b>		
<b>課題解決力</b>		
<b>コミュニケーション</b>		

参考：一枚ポートフォリオ評価 OPPO 一枚の用紙の可能性（堀哲夫，東洋館出版社，201